

# 女川町中心部(黄金町)の推移



2013.7.25 女川湾のカヌー漕行にて撮影

海から見て一段と高い場所に位置する  
女川地域医療センター・福祉センター。

津波はこの高台の建物の2階まで押し  
寄せました。この駐車場(＊)から  
見える風景をボランティアに行くと、定  
点観測しました。



## 女川町主要部(1)

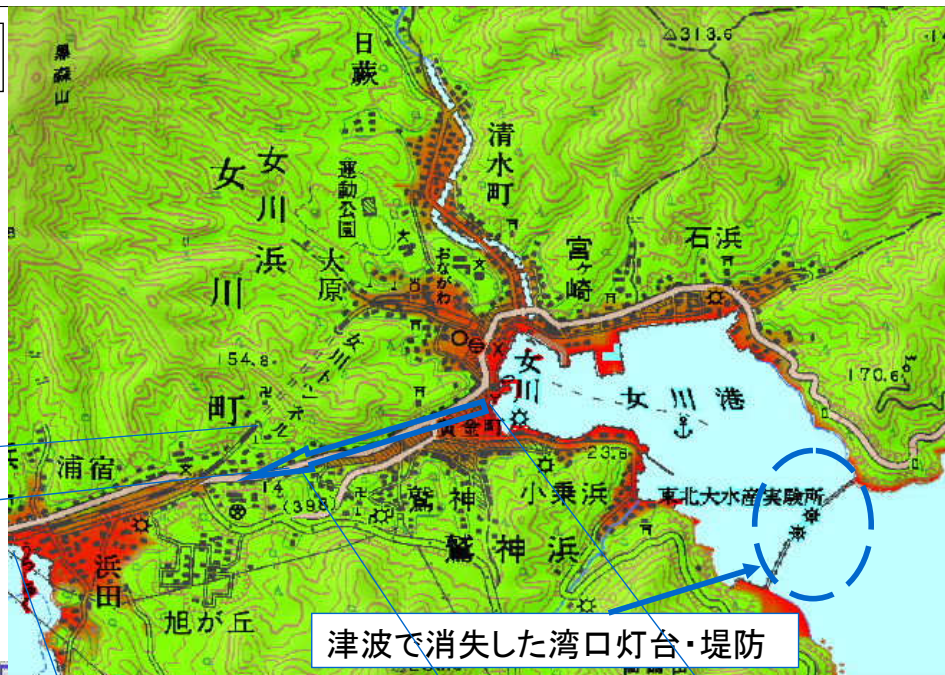
(赤色は15m以下の地域)

津波高さは14mと  
言われているが、

津波はトンネルから  
吹き出し(トンネル  
入口で約15m、  
出口で20数m)、

峠を越えた

駆け上がる波は  
20mあるいは  
それ以上に  
なっていたと  
考えられる。



## 福祉センターからのパノラマ

住宅が残っている境目のライン

4月11日撮影

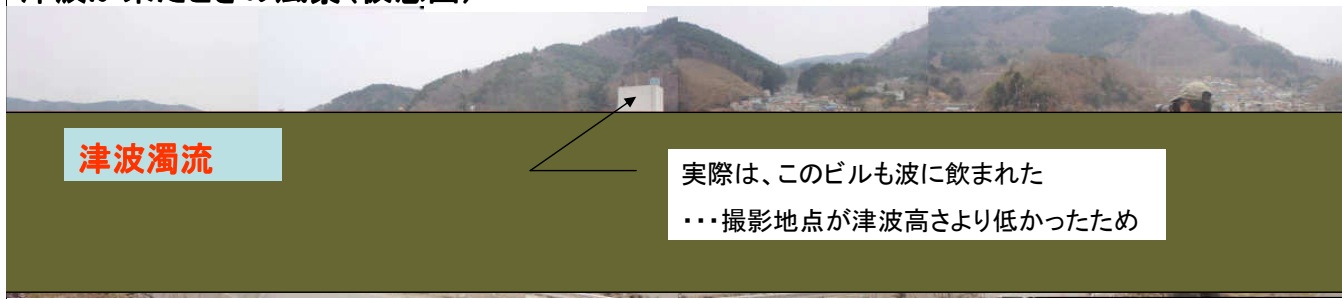


藤中さんの知り合いの方のご遺体が14日に見つかった場所

## 津波が来たときの風景(仮想図)

津波濁流

実際は、このビルも波に飲まれた  
・・・撮影地点が津波高さより低かったため





4月11日(2011年)



5月19日(2011年)



9月17日(2011年)



11月18日



3月18日(2012年)



女川観光の象徴、“マリンパル”が取り壊されました

4月26日(2012年)





7月 1日(2012年)



10月1日(2012年)



浚渫船が横付けされ、岩壁工事が行われています。

11月19日(2012年)



3月20日(2013年)



この高さまで、盛り土するようです。

5月19日(2013年)



消波ブロック製作エリアが設けられています。車の往来がとても多くなりました。

7月25日(2013年)





# 清水地区の瓦礫

2011年9月17日



瓦礫がどんどん増えています。

2012年4月26日



2012年7月1日



宮城県原子力センター

保安院

分別開始?





瓦礫回廊と呼ばれ、この奥にある仮設住宅に住む  
方々が、両側にせり上がる瓦礫の間を行き来してい  
たのです。

2012年10月1日



原子力センター・保安院が取り壊されました。

2012年11月19日



2013年3月16日



**まる2年以上を経て瓦礫がようやくなくなり、復興に向けた工事が始まっています。**

2013年5月19日



2013年7月25日

